

生活保護を受けずに暮らしている障害者の6割は年収100万円以下だったことが5月17日、きょうされん（西村直理事長）の調査で分かった。親に依存した生活実態が明らかになった。きょうされんは、障害者個人の所得保障制度を確立するよう訴えている。

調査は2015年7月から今年2月にかけて、全国の地域活動支援センターなどに依頼し、1万4,745人か

年収100万円以下6割 障害者の生活実態調査（きょうされん）

ら回答を得た。そのうち、生活保護を受給していない1万2,531人を分析したところ、障害年金や同センターからの工賃などを合わせた年収は「100万円以下」が7,654人（61%）だった。

回答者全体の属性は男性が6割で平均年齢は41歳。知的障害者が65%で、自宅で暮らす人が72%、親と暮らす人が55%だった。

（福祉新聞・第2764号 2016年5月30日）

お知らせ

日 程：2016年7月16日（土）・17日（日）

会 場：東京ビッグサイト TFT ビル
（東京都江東区有明3-6-11）

第18回日本在宅医学会大会大会長：平原佐斗司（日本在宅医学会副代表理事）

第21回日本在宅ケア学会学術集會学術集會長：辻 彼南雄（日本在宅ケア学会副理事長）

参加費：医師、歯科医師、企業：当日申し込み①会員17,000円、②非会員18,000円、コメディカル、一般、介護専門職：当日申し込み①会員8,000円、②非会員9,000円、学生（大学院生は除く）：当日申し込み3,000円

対 象：在宅医療に携わる医療、看護、福祉・介護をはじめすべての職種の方

プログラム：市民公開講座「そうだ、在宅育でよう、この町に」座長：蘆野吉和（北斗病院地域包括ケア推進センター）、講師：徳永 進（野の花診療

第18回日本在宅医学会大会 第21回日本在宅ケア学会学術集會合同大会

所院長)/市民公開シンポジウム「自分らしく旅立つために」講師：上野千鶴子〔社会学者、東京大学名誉教授、認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長〕、秋山正子（株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション統括所長、暮らしの保健室室長）、辻 彼南雄、司会：志藤洋子（国際長寿センター日本事務局長）

申し込み方法：合同大会サイト（<http://www.procomu.jp/zaitaku-joint2016/jizen.html>）よりオンラインでお申し込みください。

問い合わせ先：株式会社プロコムインターナショナル
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階
Tel：03-5520-8821 Fax：03-5520-8820
E-mail：zaitaku-joint@procomu.jp